

## 2021 年度学部学生発表奨励賞

### 最優秀賞

コロナ禍における行動と意思決定からみる若者のツーリズム・リテラシー

— 愛媛大学の学生を事例に —

愛媛大学社会共創学部 坂本夢衣／岡本悠暉／渡部美咲／松下真佑／岡野尚人／渡邊洋心

### 優秀賞

1. グローバルシティ新大久保のまなざしと内実

立教大学観光学部 筑波まりも／栞原巳沙

2. 道の駅「ねごろ歴史の丘」に関する SNS 投稿データ分析と情報発信への展開

和歌山大学観光学部 宮井凜晴／大山梨央／五味晴香／杉本情／諏訪葉瑠奈

#### <講評>

今回は 17 件という多数の参加がありました。まずこのことを記し喜びたいと思います。

対象とされた分野は、コロナ下における観光行動、道の駅や地域観光、IT とツーリズム、サブカルチャー、グローバル文化など多岐にわたり、アプローチも経営学、社会学、歴史的アプローチなど多彩なものとなりました。ポスターはどれも工夫を凝らした力作揃いで、学部生の観光研究のレベルの高さがうかがわれました。

そのなかで、コロナというタイムリーな現象をいち早く研究に昇華した愛媛大学の作品が最優秀賞となり（51 点）、ついでグローバル都市新大久保に「まなざし論」で切り込んだ立教大学の作品（29 点）、さらに道の駅というリアルな場を SNS というメディアから照射するというオリジナリティある報告をした和歌山大学の作品（28 点）が並んで優秀賞となりました。

今回はコロナによる対面開催ではなかったため、いろいろと例年とことなる試みがなされました。

たとば、ポスターに加え、ポスターの説明動画を作成いただきました。例年のない苦労を学生たちにおかけしましたがその動画もとてもわかりやすく、しっかり作り込まれており、多くの方に好評でした。

またオンラインでの質疑応答は、全国の大学の学部生が参加し、暖かくも活発な議論が行われました。交通費の心配なく、全国の学部生が一同に会して議論しあえたこの環境は、コロナの厄災下とはいえ、素晴らしい時間が実現したこと、これからの学会の一つの理想型のように思われたことを、ここに記しておきたいと思います。

投票方法：持ち点（学生 1 点、教員 2 点）、各 2 作品まで投票可能。総得点数 258 点。